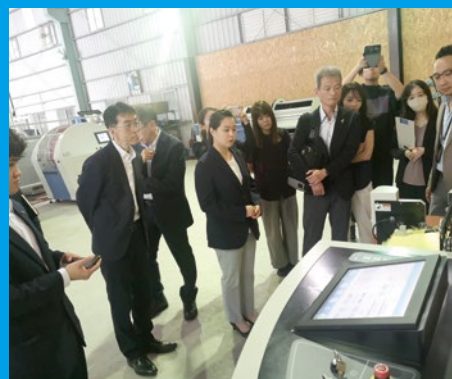


海外展開のビジネスチャンスを探る！

# 台湾ものづくり 企業視察

台湾は、半導体産業を中心に経済成長が著しく、ものづくりの技術力も高まっています。台湾と福井県の企業のビジネスマッチングを促進するため、視察会を開催しました。



## 視察概要

日程…10月10日～12日

視察先…台北市・新北市（台湾企業3社、日系商社1社、工業技術研究院、技術展（示会））

参加者…会員企業経営者等8名

## 台湾企業の「いま」

（精密機械とサステナビリティの分野において）

台湾ではTSMCをはじめとする半導体産業が盛んですが、それを支える精密機械の分野も世界トップクラスの技術を持っています。例えば、工業用・医療用の内視鏡やカメラを設計開発している升洋資訊企業では、1.4mmのカラーカメラや、超小型のハイスピードカメラを開発しています。この技術が評価され、世界各国との取引を開始。チェン社長は、「半導体の企業をはじめとする



超小型カメラについて説明する  
チェン社長（中央）

顧客の要求に対して、柔軟に対応しようと常に努力してきた。そのお陰で技術を高められた」と語りました。

また、昨今話題となっている「持続可能性」を強く意識している台湾企業もあります。午洋企業は、廃棄予定の衣類や靴を、特殊な加工技術で建材へと再生させ、さらに加工して小売店の什器や小物に展開しています。ジェニー副社長は、「時流を捉えたビジネスチャンスを見つけ、ここ数年間は投資の時期であった。当社の取り組みに、世界各国の企業から共感を得られ、有名ブランドとの実績もできた」と話しました。

## 台湾企業と日本企業の連携

台湾の研究機関である工業技術研究院の業務経理 李湘平氏は、「日本企業は、品質管理、研究開発、ブランド力が高く、台湾企業にとって非常に魅力的な存在である。一方で、台湾企業は、マーケティング（売力）に長け、アジア圏や世界とのネットワークを持つ。双方の企業が連携し、強みを発揮することで、グローバルな展開も容易になる」と語りました。実際に、鯖江市に本社を置く株NCCは、台湾企業と連携し、合

弁会社を台湾に設立し、東南アジアの市場開拓を計画しています。

## 視察会を終えて

日本では、人口減少による国内市場の縮小が懸念され、海外での販路開拓の必要性が高まっています。他方で、「売る力」に強みを持つ台湾企業は、福井県の企業にとっても、有力なパートナーです。視察会では、台湾企業と積極的に意見が交わされ、今後の連携に可能性を感じる事ができました。今後も、福井県と台湾企業を繋ぐマッチングを続けていきたいです。

## 一口メモ

**福井県の経済界と台湾との関係性**  
福井県の経済界は、2012年に台湾の支援機関（台日商務交流協進会・台日産業技術合作促進会）とMOU（業務協力覚書）を締結。締結後、福井県企業の台湾市場への進出や台湾企業との技術連携を目的に、製造業を中心とした商談会などを通して継続的に経済交流をしてきました。これまでに700件以上のビジネスマッチングが行われています。

お問合せ先

福井商工会議所 産業技術・DX推進課

0776(33)8252